

日本草地学会若手の会 夏合宿 2022 in バーチャル空間 3  
「GIS・ドローン・AI を活用した研究事例紹介」開催概要

趣旨：GIS・ドローン・AI を活用した研究事例紹介を通じて日本草地学会の若手会員および学生の知識・研究スキル向上を図る。

日時：令和4年（2022年）9月27日（火曜日）9時30分～11時30分

開催場所：オンライン（Microsoft Teams もしくは Zoom を予定）

参加資格：牧草・飼料作物生産に興味のある若手研究者、学生、院生など  
（草地学会非会員の方の参加も歓迎します）

参加費：無料

発表内容：

- ・牛飼養管理への画像解析技術の導入（初学者編） : 三輪雅史さん（農研機構畜産研）
- ・QGIS を活用したデータの可視化 : 西川 純さん（農研機構農機研）
- ・イチゴの生体計測への深層学習利用例と所感 : 坪田将吾さん（農研機構農機研）
- ・AI・画像解析による混播圃場のマメ科牧草被度推定 : 秋山征夫さん（農研機構北農研）

発表内容補足：

- ・草地学と異なる分野の研究事例紹介もあり、他分野での AI 等の利用状況も含めて知ることのできる良い機会と考えます。多くの方のご参加をお待ちしております。
- ・三輪さんには、機械学習の初心者が牛の画像解析に取り組んだ事例（アプローチの選び方、機械学習による画像解析で何ができるか、実用化への課題）をご紹介します。
- ・西川さんには、フリーの GIS（地理情報システム）ソフトウェアの QGIS を利用した、ほ場マップ上にデータを可視化する手法をご紹介します。
- ・坪田さんには、ドローンなどでイチゴの生体計測を行う技術を開発する過程で感じた、深層学習利用の利点や注意点をご紹介します。
- ・秋山さんには、バンダイナムコ社と共同研究した、AI・画像解析による混播ほ場のマメ科牧草の被度を推定する技術をご紹介します。

申込み先：kawaide@affrc.go.jp 日本草地学会若手の会 川出哲生（かわいでてつお）

申込み締切：9月20日（火曜日）17時